

長野県動物愛護会安曇野支部 犬のしつけ方教室 参加者募集

長野県動物愛護会安曇野支部では、人と犬とのより良い関係を築き、安全で快適な暮らしを守るため、「犬のしつけ方教室」の参加者を募集します。

●日程

【開校式・学科講習】 9月27日(日)

13:30～16:00、堀金公民館講堂

【実技演習】 10月4日(日)、11日(日)、

18日(日)、25日(日)の全4回

9:30～11:00、穂高プール駐車場

【閉校式】 11月1日(日)

9:30～12:00、穂高プール駐車場

●参加資格 次の①～④の条件に該当していること

①長野県動物愛護会安曇野支部の会員であること

(開校日当日入会可、年会費1,000円)

②参加する犬の年齢が3カ月以上であること

③講習の全日程に参加できる人

④松本保健所管内(安曇野市および近隣)在住の人

●定員 先着30組

●参加費 5,000円(テキスト代を含む)

●申込方法 県動物愛護会安曇野支部(下記)へ電話でお申し込みください。

●申込期限 9月24日(木)まで

●その他

①開校式には犬を連れて来ないでください。

②参加できるのは1家族1頭です。(犬種は問いません)

③狂犬病予防注射を受けておいてください。

〒松本保健所内長野県動物愛護会
安曇野支部事務局
(TEL)40・1943 (FAX)47・9293



犬の訓練所代表・公認訓練士

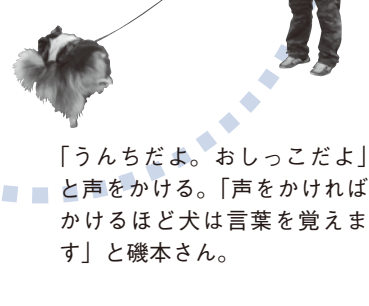
磯本 隆裕 さん

プロフィール●穂高有明にある犬の訓練所を経営。これまで訓練した犬は1000頭以上。市が委託している「モンキードック」の訓練士でもある。学生時代に盲導犬に触れ、訓練士を志す。福岡県出身。

1 決まった場所で 排便させるための しつけ方



犬はきゅう覚が強い。ティッシュなどでとっておいたフンや尿を、自宅の門付近など、させたい場所に置き、トイレであることを認識させる。



「うんちだよ。おしっこだよ」と声をかける。「声をかければかけるほど犬は言葉を覚えます」と磯本さん。



排便ができればしっかりと褒める。根気よく続けることが大切。

2 基本的な 散歩の仕方



飼い主の左横、もしくは後ろにつかせる。言葉と行動で示し、できたら褒める。人間との序列関係は、犬が生きていくために大切なことなので変えない。

悪い例。犬が前を歩いてしまい。飼い主との序列関係ができていない。社会で生きるためルールを作ってあげることが大切。

3 フン始末のコツ



散歩中のフンは必ず片付ける。最悪の場合は、犬のフンを介して野生動物などに病気を感染させてしまう可能性もある。



ビニール袋で手を覆う。感触が苦手な場合は、さらにティッシュを上にも引く。



フンをつまみ、ビニール袋をひっくり返して口を結んで完了。



フンの入ったビニール袋はウエストポーチに入れるのがおすすめ。

群れのルールづくりが大切です。そして、犬がきちんと社会生活を送れるよう、コミュニケーションをしっかりとることが重要です。犬は、自分の立場が下になることで不幸と感じたり、ストレスを感じることはありません。

——犬のしつけのコツ、またしつけを続けるためのコツはありますか。

磯本 とにかく褒めること。ひとつできたら褒めてあげる。根気よく続ければ大丈夫です。忙しくて時間がない場合でも、5分間だけ集中する時間を作ってください。人間が集中すれば、犬も自然と集中します。

——犬にとっての家族とは。

磯本 犬にとって家族は「群れ」。

——飼い主の中には犬との関係づくりに悩む人もいますよね。

磯本 まず、犬は家族の一員だと認識してもらいたいです。犬は家族を選ばれません。家族と良い関係を築いていただきたい。犬をかわいがり過ぎるということは本来ありません。いくら愛情をかけてもいい。ただし、彼らは犬であって人間ではないという基本は押さえてほしいです。

——モンキードック事業では、犬たちが人間の生活のために活躍していますね。

磯本 猿の出没情報を受けて、2頭の訓練犬が現地で猿を追い払っています。モンキードック、盲導犬など、さまざまな犬たちが社会的な役割を果たしていますが、家庭の犬たちも、私たちの暮らしで大切な役割を担っていることに変わりはありませんね。

猿害対策に活躍するモンキードック。写真奥がジョンコ(4歳)。手前がハナ(5歳)。追い払い時には専用のベストを着用しています。

